

消防関係団体紹介



津市防火協会 会長 吉川 晴

平成十八年一月一日の市町村合併に伴い、新たな第一歩を踏み出し、常日頃から二十九万人の市民の生命、身体、財産を守るため、昼夜を問わず献身的にご尽力されている津市消防本部の皆様に対し、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

私は、昭和六十二年から防火協会と深く関わり、平成十八年一月には、旧津地区防火協会と旧久居地区危険物安全協会が統合し、会員数五百事業所を超える会として新たに発足した津市防火協会の会長という重責を務めさせて頂くととなり、改めて地域防災の発展のために全力を尽くす決意でございます。

安全・安心の確保は市民の強い願いであり、近い将来、発生が危惧されている大規模地震をはじめ、毎年のように被害をもたらす風水害、近年、増加傾向にある住宅火災での死者など、関心は極めて高いものになっています。

そのため、当防火協会の取り組みとして、職場防災競技会や各種講習会などを開催し、災害の未然防止に貢献する他、春・秋の火災予防運動期間の啓発や消防本部の防火などの行事にも積極的に協力会員に対する普通救命講習会なども行い、会員の資質の向上と防災意識の高揚に取り組んでいるとともに、会員間の親睦を図ることを目的としたボーリング大会なども開催しています。



津市防火協会先進地視察研修 (平成18年12月7日:名古屋市)

これからも、消防関係者の皆様方と一体となった防火防災体制の拡充を推進し、地域の安全・安心と郷土の発展を担うことが、当防火協会の大きな役割であると確信していますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

防ぎ得る外傷死の撲滅を図るため

JPTEC

三月八日に当消防本部において、第一回JPTECプロバイダーコースが開催され、希望した医師一名と救急隊員十一名が受講しました。

JPTEC(ジャパン・プレホスピタル・トラウマ・エポリューション&ケア)とは、日本救急医学会公認の病院前外傷教育プログラムであり、医師向けの病院内外傷教育プログラムJATECとの整合を保つことにより、病院前から院内まで一貫した概念の下に標準的な外傷教育を行い、我が国において、防ぐことのできる外傷死の撲滅を目指すものです。

当研修会では三重大学附属病院救急部



外傷患者の全身観察をする消防隊員

院救急部の畑田剛医師他二名のものと、救急救命士を含む救急隊員が指導

春の防火キャンペーンを開催しました!

する中、受講した消防隊員は、想定された高エネルギー事故による外傷などの観察や応急処置を手際よくこなしていました。

当消防本部予防課では、三月四日、春の火災予防運動の一環として、市内の大型ショッピングセンターにおいて、防火キャンペーンを開催しました。

親子で火災の恐さなどを体験したり、防火を交えたさまざまなゲームやぬりえ、またミニ消防車のコーナーでは、ちびっ子たちが憧れの防火服に身を包んでの記念撮影など大変好評でした。

また、住宅用火災警報器の展示コーナーでは、設置箇所や設置期限の説明を行い、来場者の方から、「防火・防災意識の高揚に、大変役に立ち



ひのようじん はい チーズ...

ました。その声が多く寄せられました。